

# 五の池 小屋だより

## 不便な生活？

御嶽山飛騨頂上（標高

2800㍍）、雲の上に五の池小屋はある。ここは登山者が休憩や宿泊をする場所で、僕はこの山小屋の管理を毎年6月から10月までやっている。

山小屋での生活は一般の生活とは大きく異なる。ここではまず水道がない。小屋で使う水は小屋の裏側にわずかに流れている沢水や、天水（雨水）。時には残雪をストーブで溶かして生活に必要な水を確保する。

電気は当然なく、発電機で自家発電をしている。発電機の燃料には限りがあり、小屋の電灯も夕方と早朝の、食事を取るわずかな時間しか点灯しない。それ以外の時間は昔ながらのラン

プが主力となる。もし電化製品などがあつたとしてもここではろくに使えないのだ。

食材などの物資はヘリコプターによる空輸となるが、悪天候により飛べないことが多々あり、そんな時は背負子（しよいこ）で食材を自分で担いで運ぶことになる。ボッカ（歩荷）である。

ここでの生活は《ないない尽くし》で、最近の便利な世の中とはまったく正反対で不便であり、衣食住だけで精一杯な辛普森な生活しかない。

よく知人から「どうしてそんな山の高いところにいるの？」などと言われることもあるが、どうしてなのか、僕はこの生活を10年近くも続けている……。